

5 - 6 東海沖の地震活動 (1986 年 1 月 ~ 2 月)

Seismic Activity in the Region off Tokai Area, from January to February, 1986

気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division
Japan Meteorological Agency

浜名湖南方約 100 km の東海沖で 1 月末から 2 月始めにかけてやや活発な地震活動があった。

1 月 28 日 23 時 22 分の M:2.7 の地震に引き続き、その 4 時間後の 29 日 03 時 22 分に M:4.3 の地震が発生した。

その後 2 月 3 日頃まで余震が観測されている。

これら地震の震央分布及び海底地震計の位置を第 1 図に示す。

今回の地震の活動域は図から判るように、海底地震計の先端装置 (TK1) の西方約 20 ~ 30 km のところで発生したものである。

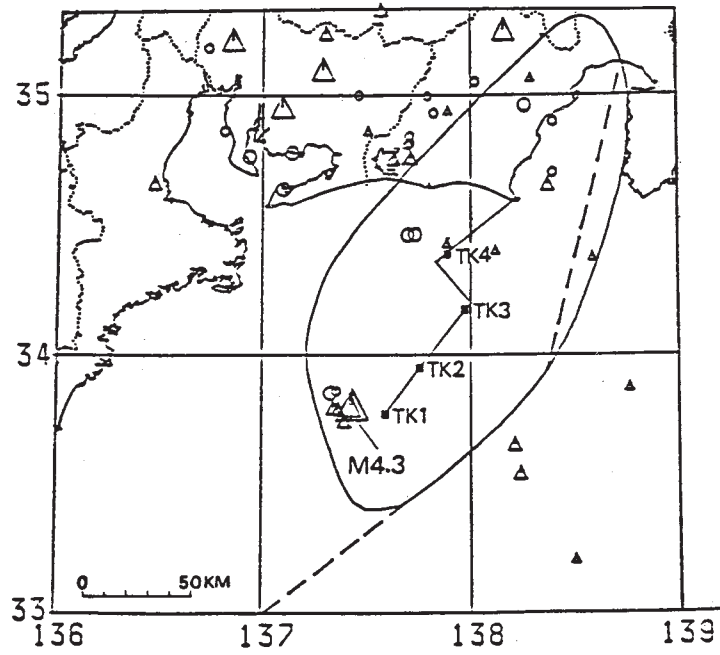
第 2 図は TK1 で観測された時間別・日別地震回数である。

この期間観測された地震数は総数 23 回となっており、最大余震は M:3.6 であった。

1980 年以降、第 3 図に示すように、駿河湾から東海沖にかけての地域で群発地震活動が発生しているが、今回の活動は発生総地震数としては多いとは言えないが、最大地震の M は最も大きいものであった。

なお、29 日 03 時 22 分の地震のメカニズムは第 4 図に示すように NNE - SSW 主張力軸となる正断層型の解が得られる。

なお、1966 年 1 月 11 日から 12 日にかけて、今回の活動域のやや南西側のところで M:5.9 の地震を含む活発な地震活動もあった。今回の活動はこれに比べるとはるかに小規模のものであった。



H : 00- 20- 60

○ △

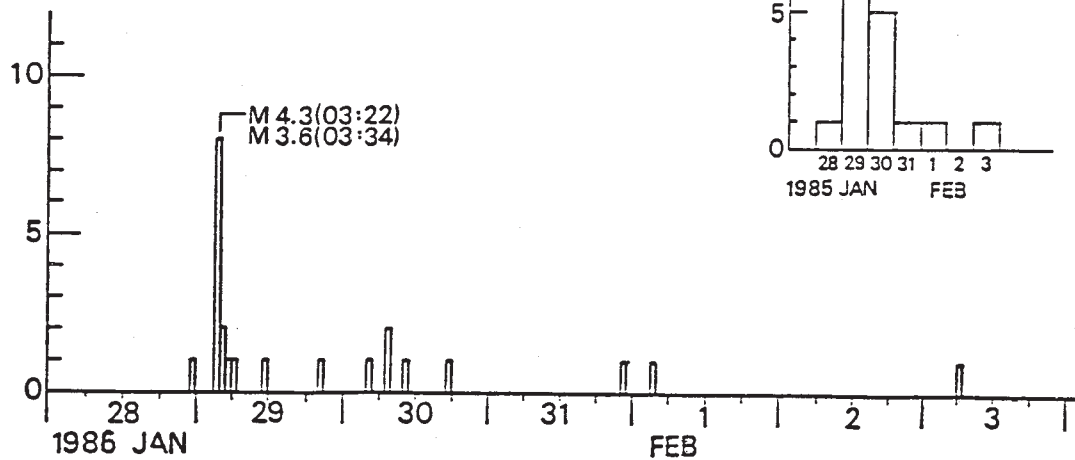
M : UND 1 2 3 4

+ + + + +

第1図 震央分布図と海底地震計の位置

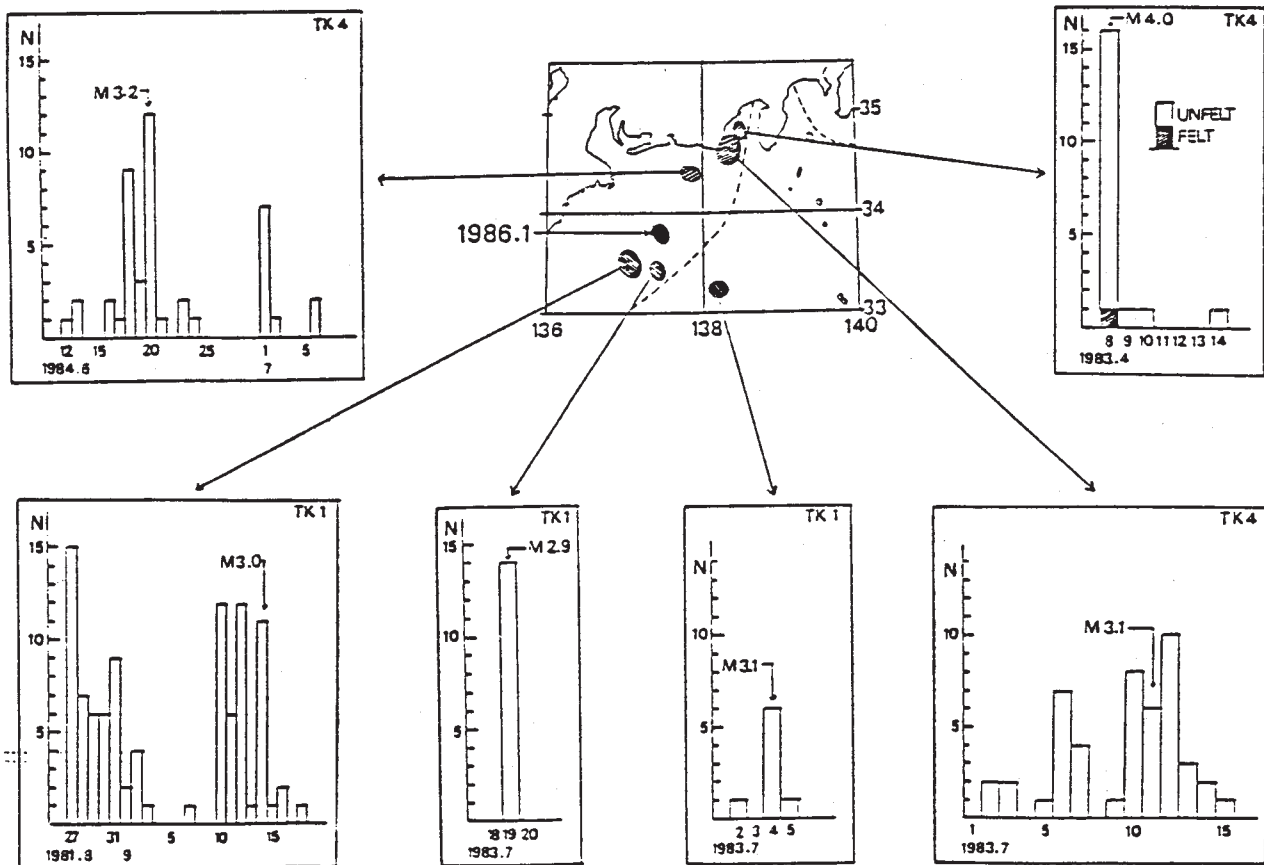
Fig. 1 Distribution of earthquakes and positions of Ocean Bottom Seismographs are shown.

時間別地震回数(TK1)



第2図 海底地震計先端装置 (TK1) による時間別・日別地震回数

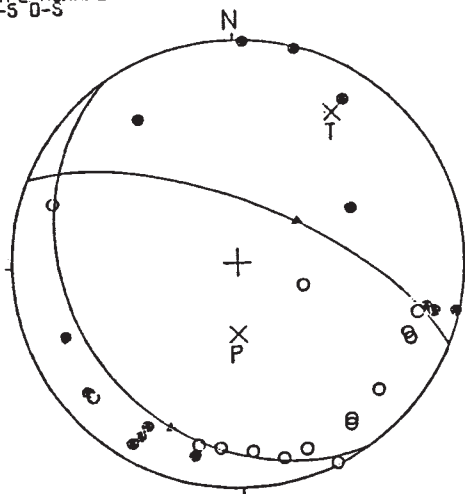
Fig. 2 Hourly and daily number of earthquakes observed at TK1 (terminal seismograph station of Ocean Bottom Seismograph observation system).



第3図 最近の東海沖の群発地震とその時間別地震回数

Fig. 3 Recent earthquake swarms in the region off Tokai area and hourly number of earthquakes.

29 JAN. 1986 3 22
 P IN = 37 26 LIT = 33 19 H = 42 MAG = 4.3
 DIP = 187 01 P = 68 01 P = 304 01 P = 26
 P AZ = 79 IN = 20 T AZ = 327 IN = 66
 TYPE NORMAL
 O-S O-S



第4図 1月29日03時22分の地震のメカニズム解 (上半球投影)

Fig. 4 Focal mechanism solution of the earthquake 03h 22m, January 29, 1986.
 (Projected on upper hemisphere)

● : up ○ : down